

令和4年度鹿児島学習定着度調査結果《速報》

令和5年2月4日現在

【1年生】	国語	社会	数学	理科	英語
武中	70.3	68.3	68.2	61.3	76.1
県平均	70.4	68.4	70.9	63.2	75.6

【2年生】	国語	社会	数学	理科	英語
武中	71.4	61.2	73.0	65.0	65.8
県平均	70.9	54.9	72.6	62.4	67.8

		主な課題	改善策
1 年	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・無答率が高い。 ・問題をよく読むことや、図表と文章を関連づけて読むことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く取り組む姿勢を高める。 ・家庭学習に活用問題も取り入れる。
	社会	<ul style="list-style-type: none"> ・無答率が市・県平均より高い。 ・基礎的・基本的事項の定着率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予習として教科書を読んで、大事な部分（太字語句を中心に）に線を引く、印をつける習慣をつけさせる。
	数学	<ul style="list-style-type: none"> ・正答率が7割にやや届いていない。 ・活用の問題の正答率が5割前後 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な計算問題の繰り返しの復習と活用問題に取り組む機会の確保をする。そのために授業の進展をスムーズにする。
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ・重要語句や公式など基礎基本ができていないことから、学習した内容を忘れており、定着できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の習慣が身につけていない生徒が多いので、授業の中で復習の時間をつくる（小テスト、単元テスト、問題演習など）。
	英語	<ul style="list-style-type: none"> ・細かい部分の聞き分け（13と30など）。文章の読み取り。 ・単語や文章を正確に書くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大事なポイントを押さえながら学習をすすめていく。 ・書くことへの抵抗感を減らしていく。
2 年	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・既習漢字の定着 ・表やグラフと文章を関連させた情報整理力 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト等による反復練習 ・新聞や各種データを用いた学習材の開発と練習
	社会	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の資料を活用しながら答えを導き出す問いの正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で複数の資料を提示しながら考察する時間を確保していく。
	数学	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な計算や関数のグラフの特徴など基本の問題ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト等で基本の計算問題に力を入れ、繰り返し行い定着をはかる。
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島市の平均を2ポイント、県の平均を2.5ポイント上回っていた。基本的な用語を答える問題の不正解が目立った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の際、振り返りなどを行い、基本用語などをしっかり押さえない。
	英語	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、無回答が多かった。 ・文型を意識して、英文を書くことが難しいものとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Writingの課題やナビまドリルなどを活用して、英文を書く機会を作る。授業で文法・単語テストに加えて、writingも加える。